



今井 武男 議員

地域医療体制について

【問】総合病院とクリニックとの病診連携は。

【答】総合病院では、高度医療機器の共同利用、開放病床、市民の相談窓口として地域連携室を設けている。

また地域連携登録医制度を設け、市内54の医療機関が登録されている。

【問】飛騨医療圏における医療体制の確保は。

【答】県の作成した計画を踏まえつつ3市1村で飛騨医療圏にとって望ましい医療体制の確保にしっかりと取り組んでいく。

【問】市民病院を持たない高山市にとって総合病院に対する今後の支援は。

【答】総合病院に対して医師不足、非常勤医にかかる経費、院内保育、

三次周産期医療支援、高度医療機器の導入など、安心して暮らせる医療体制の確保と充実を図るため効果的な支援について協議を行う。

【問】空家の活用について「DIY」型の賃貸借制度は。

【答】「空家等対策の推進に関する特別措置法」が昨年5月に施行した。DIY賃貸借制度も大いに活用してほしい。

ドッグランについて

【問】犬の登録数はどれくらいか。新たにドッグランの整備はできないか。

【答】4,916頭である。現在はペットブーム社会だが新たに整備する考えはない。



谷村 昭次 議員

「夜」のまちにぎわいと地域福祉での支え合いの有り方は

互助による地域福祉での支え合い

【問】住みなれた地域でだれもが安心して暮らし続けるための支え合いは「互助（住民個人の自発的な意思による他人を思う気持ちやボランティア）で関わること」を重視した、住民負担と合意形成に重点を置く方向性にすべきでは。

【答】広い意味での「地域共助」では共に支え合うという考えにとどまらず、「互助」という考えにも配慮し、さらに地域ごとの事情を十分酌んだ地域福祉計画になるよう市民意見を集約する中で検討する。

公共空間の活用とにぎわいのまちづくりと若者の雇用創出について

【問】市が所有管理する公共物をまちのにぎわいと若者への雇用創出の観点から、これまで以上に利用・活用への柔軟な対応や支援への考えとともに、一例として水辺空間利用や夜間観光・夜市・夜景づくりへの考えは。

【答】公共空間を利用したのまちのにぎわいづくりや夜間観光等、夜のにぎわい創出へ積極的な関心をもつ中で、若者等の新たな雇用の場が確保されることへも期待しており、取り組みを促進していきたい。



西田 稔 議員

災害発生！早期避難で自分の命は自分で守ろう！

災害時の避難所の運営について

【問】早期自主避難に対応できる一時避難所開設の考えは。

【答】一時避難所については、施設の所有者と地域の皆様との間で、施設のカギの保管方法、施錠・解錠の方法、利用スペースなどについて話し合いをしていただき、両者の合意によって決めていただくこととしている。

一時避難所の指定にあたって、何か課題があるような場合には、市も話し合いに参加している。

保育士の労働環境について

【問】保育士の労働実態の把握はなされているか。

【答】保育士の労働環境については、長時間保育や土日の保育ニーズの増加等に伴う負担の増加や、定期的な計画書の作成等の事務仕事の増加、低年齢児等の特別な配慮が必要な園児の増加等により、公立・私立を問わず保育士への負担が増加していると認識している。

【問】保育士の待遇改善をどう考えるか。

【答】私立保育園の運営法人に対して、保育士の待遇の改善が図られるよう、給付費への待遇改善に必要な経費の加算や、延長保育、低年齢児、障がい児等の保育のために必要な加配保育士の人件費に対する助成等を行っている。